企業・団体名（　ライフライン長野株式会社　）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件について差別しない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・就業規則において、ハラスメント防止規定を定めている。 ・社内研修を行い、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・1年単位の変形労働時間制とし、所定労働時間は1年を平均して週40時間以内とする労使協定を締結し、協定届を所轄労働基準監督署長に提出している。 ・社員一人ひとりの時間外勤務時間数や有給休暇取得状況を毎月集計し、経営層へ報告をしている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件について差別しない体制を構築している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)を認証取得している。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月社内パトロールを実施しているほか、安全衛生に関する報告や注意喚起を全社員に対して行っている。 ・毎年2月にグループ全社員を対象に安全大会を開催し、安全衛生に対する意識向上を図っている。 ・現場においては、毎日朝礼を行い、危険予知活動を行っている。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的として、年に一度ストレスチェックを実施している。また、必要に応じて、産業医との面談を行っている。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・障がい者の法定雇用率以上の障がい者を雇用している。 ・61歳の定年以降も本人の希望により、再雇用を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・新入社員研修や特別実務研修、社内研修のほか、社外の各種機関が行う実務的・専門的な研修会や講習会への参加など、全社員に教育参加の機会を与え、費用を会社が負担している。 ・業務上必要な資格取得に関する費用を会社が負担している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・原則に沿って対応し、労使協定を締結している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・毎朝、ラジオ体操を実施している。 ・年に一度の健康診断を義務化し、有所見者には再検査を促している。 ・年に一度のストレスチェックを実施し、メンタルヘルス不調になることを未然に防止している。			3					8									

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・ながのエコ・サークルのゴールドランク認定を受けている。 ・産業廃棄物はマニュフェスト管理を徹底しており、排出先業者の管理を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月の電力消費量および水道使用量を計測している。 ・社屋屋根に太陽光発電パネルを設置し、受給電力量をリアルタイムで把握している。 ・社内の蛍光灯はすべてLED照明を設置している。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・一年を通じてノーネクタイでの執務を可能とし、クールビズを推進している。 ・エアコンの設定温度を、夏季は26～28℃、冬季は20～22℃とし、温室効果ガスの排出量を抑制している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・必要に応じて講習等を受講し、専門知識を持つ者が取り扱いを行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・現場における埋め戻し材等、法令およびマニュアルに沿った材料を使用している。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・社内文書のペーパレス化を推進している。 ・コピー用紙の裏紙再利用を推進している。 ・プラスチック、鉄くず、ガラス、缶、陶器、紙、木くず等、ごみの分別を推進している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・毎月の水道使用量を計測している。 ・自動水栓など節水型の設備を採用していく。						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ながのエコ・サークルのゴールドランク認定を受けている。 ・令和元年度までエコアクション21の認定を受けていた経験を活かし、環境保護に努めている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針を掲げ、全社員に周知している。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・社屋屋根に太陽光発電パネルを設置している。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・現場の安全表示灯に太陽光発電タイプを利用している。												12.2	13	14	15		

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記し、入社研修時に説明している。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記し、入社研修時に説明している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･商標等の知的財産について、登録･管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･就業規則において、特定個人情報の取り扱いに関する規定を定めている。 ･社員個人のマイナンバーについては、法令に準じて管理規定を定めているほか、鍵付きのキャビネットで保管し、利用する際には記録を残すなど管理を徹底している。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･現在取り扱っておらず、今後も取り扱う予定はない。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･毎月一度、災害防止協議会を開催し、情報共有を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･施工に際しては、法令で定められた有資格者が従事している。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･日本ガス協会が定める施工基準に従って、有資格者が施工に従事している。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･都市ガス工事の設計において、環境配慮型の設備を積極的に採用している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･災害や事故など、緊急時におけるガスや水道の復旧作業の出動態勢を締結し、社会貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	･工事着工前には地元住民の方々に説明PRを行うとともに、要望を聞き取り、住環境に支障がないよう対応している。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	･災害時のボランティアや緊急出動の実績があり、今後も災害等が発生した際には社員が率先してボランティア活動に従事できる社風や経営方針を掲げている。 ･週に一度周辺地域の清掃やごみ拾いを行っている。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ	･工事用材料に極力、県産材料を利用している。								8	9		11	12	13				

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、社内に掲げている。 ・経営目標、方針、課題、行動指針を明文化し、年に一度の社員総会時に全社員に共有している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内でコンプライアンス研修を実施している。 ・入社時に「飲酒運転しないさせない誓約書」への署名を徹底している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・現在は管理部が担当しているが、今後は自社活動が与える影響を洗い出し、検討するワーキンググループをつくる。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・工事請負の際、発注者との密な協議を重ねることにより、円滑な工事運営を図っている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・年に一度、個人ごと行動目標を設定し、中間および期末で自己および上長の評価を行っている。今後は、リスクを特定するプロセスを加えていく。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSR方針を策定し、社内および社外への周知を行う。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】今後、事業継続計画を策定する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・継続的な人材採用と教育・育成を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）